

豊見城南高等学校 音楽Ⅱ MOUSA②

芸術科「音楽Ⅱ」シラバス	単位数	2単位		
	学年・学級		第2学年1・3・4組	
	使用教科書・副教材等		MOUSA② 教育芸術社	

1 講座のねらい（目標）

- ・音楽文化に対する理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。
- ・音楽の多用な世界を知り、その世界に積極的に関与して、自分が持っている音楽の世界を広げる。

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学習内容	月	学習のねらい	備 考 (学習活動の特記事項, 他 教科・総合的な学習の時 間・特別活動等との関連な ど)
1 学 期	題材「音楽の基礎」	4	音名や音符の種類を理解し、楽譜上でどのように使われているか楽曲を通して理解する。	1学期は、新しい仲間と歌唱や器楽の演奏を通して交流を深めます。季節の移り変わりや社会の流れと関連のある楽曲を取り入れながら、より深く音楽と関わっていく。
	題材「器楽の世界 ～キーボード～」	5	音楽Ⅰで学んだことを復習し、コードの仕組みを理解し、キーボードを両手で演奏できるよう練習にとりくむ。 「エーデルワイス」「小さな空」	
	題材「器楽の世界 ～三線～」	6	1学年で習得した演奏技術をさらに深め、より難易度の高い楽曲を演奏する。 「安里屋ユンタ」「島の人よ」他	
	題材「叙情的な歌の世界」	7	日本やイタリア、ドイツの叙情的な味わいのある歌を歌い、歌詞と旋律が織りなす美しさを味わい、作者の感動を思い描く。また、フレーズや伴奏の動きを意識して表現する。	
	1学期のまとめ	7		
<p>【1学期の評価方法】</p> <p>学期全体の評価は、授業態度（発表、プリント提出、学習用具の準備、提出物、練習業況、授業内でのミニテスト）で25%、「実技テスト」50%、「筆記テスト」で25%、の配分で行う。 キーボード実技テストにおいては、拍子を理解し楽譜どおりに演奏できることを目標とする。</p>				

2 学 期	題材「器楽の世界 ～三線～」	9	三線で弾き歌いができるよう、歌唱練習も行う さまざまな時代の琉球音楽に親しみ、興味を持って演奏できるよう練習に取り組む。	器楽では、1学年で習得した三線とギターの演奏技能を高め、曲のレパートリーを増やす。 実技テスト 筆記テスト
	題材「舞台芸術の世界を眺めて みよう」	10	総合芸術としてのオペラやミュージカルの鑑賞を通して、西洋音楽について総合的に理解する。	
	題材「器楽の世界 ～ギター～」	11	コード理論を理解し、ギターのコードを覚え、さまざまなリズムのコードストロークに挑戦する。 「乾杯」他	
	2学期のまとめ	12		

	<p>【2学期の評価方法】 学期全体の評価は、授業態度（発表、プリント提出、学習用具の準備、提出物、練習業況、授業内でのミニテスト）で50%、「実技テスト」25%、「筆記テスト」で25%、の配分で行う。 キーボード実技テストにおいては、拍子を理解し楽譜どおりに演奏できることを目標とする。</p>			
3 学 期	題材「器楽アンサンブル」 1年間のまとめ	1	1、2学期で取り組んだ器楽や歌唱を活かしてアンサンブルに取り組む。	3学期は、楽器のアンサンブルに取り組みます。1年間の学習のまとめとして、これまで学んだ知識、技能を生かした発表を期待する。
		2	グループをつくりアンサンブルを行います。課題曲の中から任意で選曲し演奏に取り組みます主体的に練習を計画し発表に結びつける総合的な音楽学習を行う。	
		3	1年間のまとめとして、アンサンブルの発表とそれに関するレポートの作成を行う。	
	<p>【3学期の評価方法】 1 「器楽アンサンブル」の発表、アンサンブル発表に関連する提出物を中心に、出欠状況など学習活動への参加態度なども含めて総合的に評価する。 2 3学期全体の評価は、「器楽アンサンブル」の発表で50%、それにかかわる提出物の記入状況で30%、楽器の後始末等使用状況や出欠状況及び参加の態度で20%の配分で行う。 3 「器楽アンサンブル」については、単に表現技術だけでなく、グループ活動において自己の責任を果たしているかどうか、積極的に活動に参加しているかどうかなど、態度面を重視する。また、他の発表に耳を傾けよいアドバイスができるかどうか、また自己の反省を客観的に行っているかどうかについても評価する。</p>			
<p>【年間の学習状況の評価方法】 下記の4つの観点から評価した1学期、2学期、3学期の成績を総合し、年間の学習成績とする。</p>				

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽は個人的な好みもありますが、広く音楽文化を知るという意味で、音楽的視野を広げる心構えを大切にしたいものです。音楽はある時代の人々の心の反映であり、それぞれの民族の文化的価値の縮図です。国際理解のためにも、さまざまな音楽を広く理解しようとする態度が求められます。 ・音楽の学習では、意識の集中が大切です。表現活動では、音楽的な時間の流れの中で意識を集中させ、発声や楽器の操作などが有効に行われる必要があります。創作では、音楽的な時間の流れを予想した思考が大切です。鑑賞でも、次々に消えていく音を聴いて作品全体をとらえるために、集中は欠かせません。 ・音楽の表現や鑑賞の活動では、他の人と積極的に関わりながら自己の感性や能力を向上させていくことが大切です。練習や調べ学習での協力と計画性は重要です。発表や提出までの計画をしっかりと立て実行していく必要があります。特にグループ活動では、人任せにせず、積極的に参加することが大切です。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽は音でつくる芸術です。「無音」の状態があって初めて成立するものですから、音楽を聴こうとする時はお互いに協力して「無音」の状態をつくりましょう。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「関心・意欲・態度」「芸術的な感受や表現の工夫」「創造的な表現の技能」「鑑賞の能力」の4つの観点で評価する。

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	音楽を愛好し音楽文化を理解しているか。 音や音楽に対して興味・関心をもっているか。 個性豊かで意欲的・主体的に音楽活動を行っているか。 音楽活動の喜びを味わおうとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度 ・「鑑賞記録ノート」の記入状況 ・「ミニテスト」の理解状況
芸術的な感受や表現の工夫	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚しているか。 音楽のよさや美しさを感じ取っているか。 個性豊かで創造的な音楽活動の工夫をしているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・「鑑賞記録ノート」の内容 ・「学習のまとめ」の内容
創造的な表現の技能	表現に対する自己のイメージをもっているか。 個性豊かに表現するための技能を身に付けているか。 創造的な表現をするための技能を身に付けているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト（アンサンブルの発表を含む） ・「学習のまとめ」の内容
鑑賞の能力	多様な音楽や音楽文化に対して理解を深めているか。 多様な音楽や音楽文化のよさや美しさを主体的に味わっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「鑑賞記録ノート」の内容 ・「学習のまとめ」の内容

